かいぼりを体験！

桑袋ビオトープに43人が集合

9月22日、桑袋ビオトープ公園（花畑8－2－2）のうき島で、かいぼり体験が行われた。

この日は、事前に申し込みした区民43人が参加。最初にビオトープの説明があり、これから行う「かいぼり」は池の生き物を調査することと、特定外来生物の駆除を目的としていることを学んだ。また、池の底に溜まったヘドロを取り除くことで、生きものたちが住みやすい環境になるとわかりやすく教えてくれた。

このあと、20日から水を抜き水深約40㌢になった池へ用意してきた長靴を履き長柄ひしゃくを使って生きものの捕獲を開始。「あっ、ザリガニだ」「たくさん捕れた」「カワイイ」など大きな声を出しながら子どもたちは夢中になって網の中をのぞいた。

つかまえた生きものは回収者に渡されボランティアがそれぞれの種類に分けていき数を慎重に数えていた。約30分でこの作業は終了。

今度はスコップとバケツを持ってヘドロを取り除く作業へ。ヘドロの放つ臭い匂いが漂う中、一生懸命にすくっては用意されたコテナに入れていく。それをボランティアの人たちが処理場に運ぶ。とても重くて大変な作業だ。これも30分あまりで終了。

参加者たちは池のほとりに集められ、職員からこの日の生きものの捕獲結果が発表され、昨年と比較した増減にみんな一喜一憂していた。「皆さんお疲れさまでした。水の中にいる生きものを調査をしていくことは大切な記録になります」と締めくくられた。青井さん親子で参加した大隅裕介さん、達生さん（小学3年）は「おもしろかった。昨年も参加したが、生きものを捕るのがいい。学びがいっぱい。来年も参加したい」と笑顔を見せた。

うき島のかいぼり体験
生きもの調査結果（合計10種3448匹）

魚のなかま		エビ・カニのなかま		貝のなかま		その他のなかま	
モツゴ	1043（198）	スジエビ	1549（113）	タイワンシジミ	82（15）	ヤゴ	5（4）
ウキゴリ	139（593）	テナガエビ	64（365）			アカムシ	23（7）
ヌマチブ	36（23）	アメリカザリガニ	150（135）				
カダヤシ	360（287）						

単位：匹　※カッコ内は昨年の結果


「網に何か入っているかな～」

ギャラクシティで環境講座
地球温暖化に危機感を

ギャラクシティ（梨原町1）で9月12日、環境講座「気象キャスターに学ぶ一本当に怖い気候変動」が開かれた。講師はテレビでもおなじみの気象予報士、水越祐一さん。NPO法人気象キャスターネットワークに所属し、今回の講座のように気象や防災、環境について各地で普及啓発活動を行っている。

講座では、気候変動による現状、ゲリラ豪雨や台風などの気象災害や極端な暑さの増加などをデータを使って解説。国内では2018年以降、40度を超える酷暑日がいずれかの地域で記録されていることや、沖縄では今でも35度を超える日がほとんどないことから、2100年には避暑に行くなら沖縄となるかも!?という話も。また、5月29日から6月29日まで実施された防災気象情報についても熱中症予防と対処法、地球温暖化につながる二酸化炭素の削減に私たちが出来ることなども話した。水越さんは最後に、「30年近く天気を見てきて、今まで と本当に違う。この危機感を皆さんに知って欲しい。一緒に考えて欲しい」と締めくくった。


子どもたちとペットボトルで雲作り実験も


正蔵師匠も一緒に

交通安全つどい
正蔵師匠

9月3日、足立区シルバー交通安全のつどいが西新井文化ホールで開催された。主催は、足立区友愛クラブ連合会・区内4警察署・安全協会。

第一部では、千住警察署の中田弘之署長が「これからも官民一体となって安全・安心なまちづくりを目指します。皆さんの交通安全を祈念します」とあいさつした。第二部では、落語家の林家正蔵師匠と署員で交通安全トークが繰り広げられた。

このつどいは、9月21日から30日まで実施される「秋の全国交通安全運動」に先がけて、高齢者の交通安全を啓発するもの。

舎人図書館で展示
施設入居者らの作品

地域包括支援センター知足とともにいつまでも入谷では、9月13日～26日まで「シルバーウィーク・アートを楽しもう！」と、高齢者施設入居者らの作品を舎人図書館と日暮里・舎人ライナーの舎人駅で展示した。

王貞治、松井秀喜をはじめ、長嶋茂雄を語るうえで欠かせない総勢89人によるそれぞれの視点からの証言やあの伝説の天覧試合の徹底解析のほか、現役時代の輝きから監督時代、後年の活動まで、圧倒的なクラピアとともに紹介。数々の栄光の記録と記憶、長嶋茂雄という「スーパースターイズム」が堪能できる、永久不滅のオフィシャルブック。

【仕様】本誌500ページ+別冊年譜162ページ+別冊ハードケース梱包、定価5万5000円（税込）、発行＝読売新聞社・読売巨人軍。詳細・購入は「六元」コードから。

■第六天から胡録神社へ　現在のご祭神は「淤母陀琉命」で、神代の第六代ある神です。まさに「第六の天（神）」で明治時代の神仏分離に際して祭神が改められたと、各地の第六天社に伝えられています。

胡録神社という名称の由来は明確ではありませんが、「胡」は異国、「録」は第六天魔王とは、インドの仏教説話に登場する他化自在天（たけじざいてん）のことで、欲や快楽を自在に操る強大な存在でされる強大な存在で す。この「パワフルさ」に、歴史上の人物ならが心を寄せたというのも納得できます。

なお、後醍醐天皇の「第六天」称号は『太平記』に、信長のそれは宣教師ルイス・フロイスの書簡が出典ですが、いずれも一次史料で確認できず、確証は得られません（残念ながら）。

■第六天から胡録神社へ　現在のご祭神は「淤母陀琉命」で、神代の第六代ある神です。まさに「第六の天（神）」で明治時代の神仏分離に際して祭神が改められたと、各地の第六天社に伝えられています。

胡録神社という名称の由来は明確ではありませんが、「胡」は異国、「録」は漢数字「六」の音「ロク」が通じるので、良い別名として定着したのではと推測しています。この社名は東京東部から千葉県の一部で流行したようで、多くの胡録神社が分布しています。北陸出身の筆者に馴染みがなかったのも当然でした。


江北駅前の高野胡録神社

あだち歴史発見伝　111
第六天と胡録神社

多田文夫

日暮里舎人ライナーの江北駅前や、荒川区南千住の胡録神社を訪れたとき、石川県出身の筆者は「珍しい名前」と感じました。全国的に見ても稀な社名で、由緒をたずねると両社とも江戸時代には「第六天」と称されていたとのことです。この名称は有名で宮城県から静岡県にかけて広く分布しています。

■第六天　歴史ファンにとって「第六天」といえば、後醍醐天皇や織田信長が自らを「第六天魔王」と称したときれることが思い浮かびます。アクションゲームで信長のキャラクター名として使われたことから、ご存じの方も多いでしょう。

『FOR３VER
長嶋茂雄』
オフィシャルブック販売

HP二次元コード

災天寺はいく想像力クイズ54

○○○○に紅葉も人もゆれている

平成14年、一茶まつり全国小学生俳句大会で入賞した福岡県三国中学校3年、修さんの作品。作者は○○○○にどんな言葉を使ったでしょう。

①うたごえ　②くちぶえ

正解は、11月6日号の本紙に掲載します。お楽しみに。

▽9月4日号の答えは「②かかり」でした。


舎人図書館での展示

多田さんが新刊
江戸の大規模開発

足立区立博物館学芸員部の穀倉地帯（吉川弘文館、四六判232ページ、税込1980円）を2026年9月に刊行しました。

著者の多田文夫さん（62）がこのほど、「江戸東京東部の穀倉地帯」と題して、江東5区、埼玉、千葉に広がる「江戸東部亜野」には、江戸川、中川、荒川、隅田川などの大河川が流れる。いくつもの流路が入り組み、海水と淡水が混ざりあう汽水域だったため稲作には向かなかった。この広大な地域がかにして十万石に及ぶ穀倉地帯になったのか。

本書では、県や区をまたぐ各地の古文書や歴史書など膨大な資料を元に、江戸時代の徳川政権下から、世代を超え受け継がれてきた治水技術や錯誤を繰り返しながら穀倉地帯へと変容させた詳細な歴史が描かれている。


江戸の大規模開発
東京東部の穀倉地帯
多田文夫
吉川弘文館

乳がんケア(6)　ルミナルB型

乳がんの特徴によって4つに分類されるルミナルB型。関節痛、骨の弱りがあらわれた場合は、加味逍遙散、知柏地黄丸、その他の補腎薬を使用します。

ルミナルB型早期までの場合、手術とホルモン治療を中心に、化学療法を追加するケースが多くなるようです。

ホルモン剤による副作用は、ホットフラッシュ、気持ちの落ち込み、脱毛など、髪や頭皮の栄養になる漢方薬や薬膳を摂り入れてはどうでしょう。

漢方薬そのものが、がんの増殖・転移・再発を抑制する報告もされていますが、上手な服用によって、副作用を減らし、化学治療を継続できるようにする役割にも意味があると感じています。

◆飯島仁生堂薬局本店　足立区千住1－29－2　☎3881・2273　http://www.jinsedo.co.jp

Twitter

ギャラクシティ(梨原町)で9月12日、環境講座「気象キャスターに学ぶ一本当に怖い気候変動」が開かれた。講師はテレビでもおなじみの気象予報士、水越祐一さん。NPO法人気象キャスターネットワークに所属し、今回の講座のように気象や防災、環境について各地で普及啓発活動を行っている。

講座では、気候変動による現状、ゲリラ豪雨や台風などの気象災害や極端な暑さの増加などをデータを使って解説。国内では2018年以降、40度を超える酷暑日がいずれかの地域で記録されていることや、沖縄では今でも35度を超える日がほとんどないことから、2100年には避暑に行くなら沖縄となるかも!?という話も。また、5月29日から

交通安全つどい
正蔵師匠

9月3日、足立区シルバー交通安全のつどいが西新井文化ホールで開催された。主催は、足立区友愛クラブ連合会・区内4警察署・安全協会。

第一部では、千住警察署の中田弘之署長が「これからも官民一体となって安全・安心なまちづくりを目指します。皆さんの交通安全を祈念します」とあいさつした。第二部では、落語家の林家正蔵師匠と署員で交通安全トークが繰り広げられた。

このつどいは、9月21日から30日まで実施される「秋の全国交通安全運動」に先がけて、高齢者の交通安全を啓発するもの。

正蔵師匠も一緒に

俳壇　栞主幸　松岡隆子　選

秋草の雨に濡れゆく匂ひかな　長束マミナ

【評】秋草は総じてどれも奈良いない。雨に濡れてそれぞれの色が匂い立つように美しいさまを、人雨にぬれゆく匂いと捉えた繊細な感覚は作者の持ち味と言えよう。

三日月や潮の香満つる無人駅　平井　智子
保存樹の大きな瘤に晩夏光　榎本　妙子
カウンター越の一品秋簾　木村　徳夫
一駅を並びて帰る月の夜　関根　初男
天辺が色づき始め銀杏　中津野洋一
名を呼ばれ芒の中で手をあげる　網中　節子
雨上り色新しき葛の花　牧　君枝
自転車のバンクしづらな相撲取　太田　君江
柚の実の青々実り枝しなる　海老原静江
採血へ赤き矢印踏む白露　山崎　勝久
虫集く夜ごと奏でるシンフォニー　藤田由紀子
無花果の葉に包まれて匂ひけり　早川賀世子
枕辺に居るが如くに虫時雨　佐久間房江
百日紅今朝も花殻摘き寄せて　石橋　陽子
まつ直ぐな雨まつ直ぐな曼殊沙華選者吟

【応募要項】はがきに当季雑詠2句、氏名、住所、年齢、【を】を明記し、〒121－0831足立区舎人2－2－26足立よみうり「俳壇」係へ。一人一通。締切は10月20日必到。初心者歓迎。

◆千住宿探訪講座「千住の名を冠する特別な記念コンサート〝みんなで楽しむ極上のサックス・トリオ〟」の千住の部鑑賞券を2人に　10月に創設20周年を迎えるわたなべ音楽堂（ベルネザール）。魅力的で多彩なコンサートの数々を実施している中、記念企画の今回はサクソフォン奏者の鶴飼奈津子、浅利真夫妻とピアノの田中拓未が出演。E．モリコーネ「ニュー・シネマ・パラダイス」、R．シューマン「トロイメライ」など、親しみある曲の数々を披露する。この機会に足立区に縁ある3人の豊かな音色を堪能してみませんか。


田中拓未（ピアノ）

◆千住宿探訪講座「千住七福神歩き」参加者募集中！　NPO法人千住文化普及会（千文会）主催。同会の講師、中嶋喜文、時沢実が、江戸から現代までの千住の歴史（住）の見どころを写真と地図で案内します。千住の歴史を知って、当時の様子に思いを馳せてみませんか。【詳細】日時＝11月21日（土）10時～12時30分（9時30分～受付開始）、会場＝東京芸術センター9階会議室（千住1－4－1）、定員＝30人（先着順）、参加費＝1000円（資料代）。申込は「次元コード」から、11月14日（土）締切。問合☎080・3913・4540（千文会）、✉senbunkai1010@gmail.com

QRコード

プレゼントコーナー

阿部 佐知子の 続 漢方豆知識（国際中医師）

＜第145話＞

わたなべ音楽堂（ベルネザール）★行き方など詳細はHP（「わたなべ音楽堂」で検索）で。【応募】はがきに、〒住所・氏名・電話番号を明記して、〒121－0831足立区舎人2－2－26足立よみうり新聞「プレゼント」係。10月20日必到。

次号は11月6日(金)発行
○新規広告は！☎5647・4343

◆日々の情報は　X（旧Twitter）



